

学校の部活動に係る活動方針

福井市進明中学校

ねらい

部活動は、人間形成に資するものであり、生徒の自主的・自発的な参加により行われる活動である。よって、学校教育の一環として、教育課程との関連を図り、学校全体で組織的かつ計画的に実施する。

生徒の実態

多くの生徒が部活動を楽しみにしており、部活動が居場所となっている生徒もいる。地域クラブへの移行に伴い、多様な放課後活動をとりつづある。

活動計画・時間

授業日の週（月火木金）に活動できる。3月～10月上旬は1時間45分間、10月下旬～2月は1時間15分間実施してよい。土日は3時間程度とする。

保護者・地域の願い

部活動を通して、社会性や人間性の伸長を期待している。

設置部活動

男子バスケットボール、女子バスケットボール、男子バドミントン、女子バドミントン、男子卓球、軟式野球、陸上、ソフトテニス、ソフトボール、吹奏楽、茶華道、美術

中間・期末テスト1週間前は原則として活動停止期間とする。平日は少なくとも1日、土日は少なくとも1日以上を休養日とする。土日に大会参加等で活動した場合は必ず休養日を他の週に振り替える。土日祝日において、年間52日以上の休養日を設ける。長期休業中は、原則土日は活動しない。

部活動指導員との連携

部活動指導の適材配置により、効果的な顧問の負担軽減を目指す。

危機管理体制

部活動の共同管理を含め安全対策に最優先に取り組むとともに、緊急時の対応について共通認識を図り、事故発生時の対応を適切に行う。

指導力向上

競技や活動の特性を踏まえた合理的で効果的な指導が実践できるよう部活動顧問の研修の機会の保障に努める。

業務改善に向けた取り組み

毎月の活動計画を把握し、生徒や教職員の負担が過度とならないような持続可能な運営体制が整えられているかなどについて指導、是正を行う。

校外の指導者との連携を進め、より専門性の高い指導を生徒にできるようにするとともに、部活動顧問の指導に関する負担の軽減を図る。

部活動数を教員数の1／2までとする。

部活動における熱中症対策

高温・多湿の環境条件を把握し、活動を中止又は運動量の調整等を行うなど、熱中症マニュアル等に基づき予防策を講じる。熱中症発生時の共通認識を図り、適切な対応を行う。

部活動における感染症対策

感染拡大への警戒を怠らず、感染の状況に応じて衛生管理マニュアルなどに基づき感染症対策を行う。

体罰等の防止

生徒の人格を傷つける言動や、体罰はいかなる場合も許されないことを、あらゆる機会を通じて徹底をはかる。